

りん片分化期後の積算気温からみた ニンニクマルチ栽培の収穫適期

野菜研究所

ニンニクの収穫の目安は、これまで葉の黄化程度や試し掘りによる盤茎部の状態から判断されてきましたが、収穫時の作業員を確保するために、より早い段階から収穫時期を予測することが求められるようになってきました。

そこで、りん片分化期後の積算気温を指標にした収穫始めと収穫終わりの目安を明らかにしましたので紹介します。

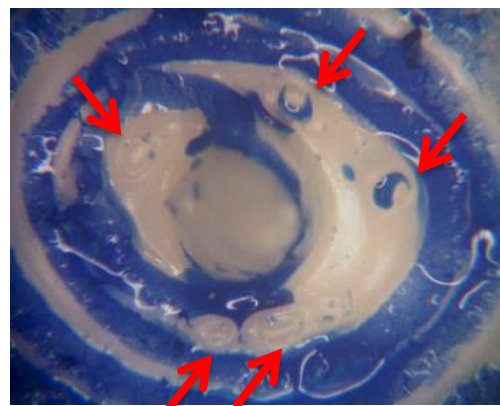
収穫適期の目安

- ◆平成28～30年に栽培試験を行い、肥大が進み盤茎部がほぼ平らになっていること、A品率が高いことを基準に、りん片分化期後の積算気温を指標にした収穫適期の目安を下記のとおり作成しました。

品種	マルチの種類	りん片分化期後の積算気温（℃・日）	
		収穫始め	収穫終わり
福地ホワイト	透明	900以上	1200以下
	緑		
	黒	1000以上	1200以下
白玉王	透明	800以上	1000以下

りん片分化期の調査方法

- ◆透明マルチ栽培では消雪後0℃以上の積算気温で約200℃を目安にりん片の分化状況の調査を始めます。
- ◆先端の陥没したりん片の原基が1個以上発生した株が8割以上となった日をりん片分化期とします。
- ◆「福地ホワイト」では、緑および黒マルチのりん片分化期は透明マルチより約6日および10日遅くなります。
- ◆透明マルチ栽培における「白玉王」のりん片分化期は、福地ホワイトと比べて約2日早くなります。



花茎基部をラクトフェノールコットンブルーで染色。矢印はりん片の原基が分化してきている部分。

技術の活用・注意点

- ◆種子は優良種苗（ウイルスフリー）を用い、マルチ栽培で11～12gのりん片を9月下旬から10月上旬に植付けた場合の結果です。
- ◆種子重やウイルスの有無、極端な生育遅れ等によって目安とずれることがあります。